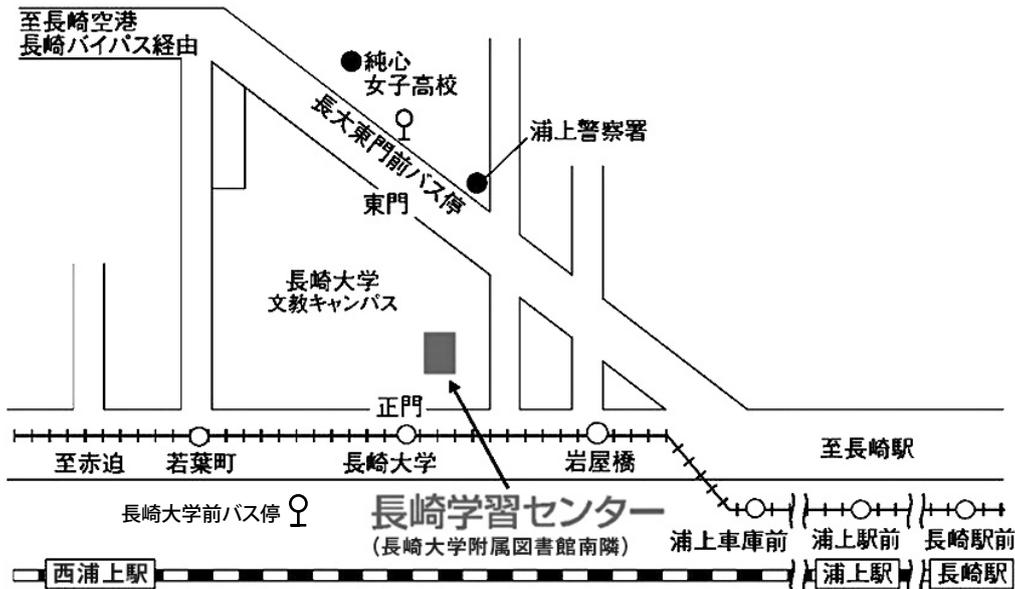


長崎学習センター

(コード：42A)

長崎学習センター案内図

☎095-813-1317



【所在地】〒852-8521 長崎市文教町1-14(長崎大学文教キャンパス内)

【交通アクセス】

- JR長崎駅・浦上駅から(長崎駅から約20分、浦上駅から約10分)
 - ・路面電車 ▶ 1番・3番系統「赤迫」行き、「長崎大学」下車 ▶ 徒歩約3分
 - ・長崎バス ▶ 1番系統「滑石」「時津」「長与」方面行き、「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分
- JR(長与経由)▶「西浦上」下車 ▶ 徒歩約15分
- 長崎空港から(長崎空港4番乗場)
 - ・長崎県営バス ▶ 「昭和町・浦上経由 長崎」行き(約40分)「長大東門前」下車 ▶ 徒歩約5分

【その他連絡事項】

放送大学専用の駐車場はありませんので、原則公共交通機関を利用してください。

※近隣に有料駐車場有。また、土日に関り長崎大学構内に有料で駐車できます。

長崎駅近隣のホテル案内は長崎学習センターウェブサイトに掲載しております。

長崎学習センター窓口では、面接授業で使用する教科書は販売していません。

各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。

科目コード	2688131	【授業内容】 長崎市の鎮西大社諏訪神社（以下、諏方社と略称）において、同社に伝わる史資料をくずし字で読み解き、また同社の境内をフィールドワークすることにより、江戸時代の長崎の地に何故諏方社が勧請されたか、その謎に迫ります。具体的には、まず入門編として江戸時代長崎の名所案内記『長崎土産』に描かれた諏方社のあらましを読み、その後諏方社蔵『鎮西大社名鑑』『鎮西大社記』『諏方社草創炎焼略記』等の縁起をもとに諏方社勧請の謎を解明します。さらに、和漢の文化交流が盛んに行われていた諏方社の模様を考察し、その立役者として活躍した大宮司青木永章の伝記を明らかにします。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	くずし字で読む 諏方社の歴史	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	25名	
担当講師	キラ フミアキ 吉良 史明 長崎大学 人文社会科学域 (教育学系)准教授	
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年4月26日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	鎮西大社諏訪神社 (長崎県長崎市上西山町18番15号)	
		【到達目標】 この講義では、様々な資料を読み解いて、いまだ知られていない諏方社の歴史文化の一面に触れられるようになることを大目標として掲げる。そして、大目標に到達するために以下の小目標を設定する。 ①変体仮名の読解ができるようになる ②古典籍資料(和本)の取り扱いができるようになる ③読解した資料に基づき、諏方社の歴史文化の特質を主体的に検証することができるようになる
		【授業テーマ】 第1回 磯野信春『長崎土産』に描かれた諏方社をくずし字で読む 第2回 江戸時代の諏方社における異文化交流 第3回 くずし字で諏方社の縁起を読む 第4回 神功皇后伝説と諏方社 第5回 くずし字で読む諏方社大宮司青木永章の伝記 第6回 諏方社大宮司青木永章のこゝろ—江戸時代後期長崎文苑の先導者— 第7回 諏方社の境内を実地踏査する—フィールドワーカー— 第8回 講義総括—長崎と諏方信仰—
		【学生へのメッセージ】 この講義では、江戸時代の諏方社の魅力をくずし字で読み解きます。諏方社の魅力を存分に味わってみませんか。くずし字を読んだ経験のない方も大歓迎です！読解のための手ほどきを一から丁寧に行います。また、座学のみではなく、諏方社の境内をフィールドワークすることにより諏方社の歴史と文化を体感します。江戸時代の史資料、また境内の文化財に触れて、その隠された魅力とともに掘り起こしてみましよう。
		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。なお、1日目の講義日終了後は、授業中に学習したくずし字を復習して、字母とくずし方を覚え、2日目の講義に御出席ください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 くずし字の読解にアプリを利用しても構いません。その場合、スマートフォン・タブレット等の端末をお持ちください。AIくずし字認識アプリ「みを」をインストールして、くずし字を読解できます。なお、パケット通信量に制限等がある方は、当日諏方社においてWi-Fiが使用できませんので、御注意ください。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		【参考書】 ・今と昔の長崎に遊ぶ(増崎英明/九州大学出版会/¥2,640/ISBN=9784798503103)
		【その他(特記事項)】 本授業は諏訪神社で実施します。諏訪神社は入口から拝殿まで階段が多いため、昇降に不安のある方は事前にご確認ください。詳細は 諏訪神社公式サイト(https://www.osuwasan.jp/)をご参照ください。なお、車での乗り入れは可能です。 「学生教育研究災害傷害保険(100円)および「学生教育研究賠償責任保険(340円)」の両方に加入している者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5参照

科目コード	2688140	授 業 概 要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本授業では、デジタルメディアや情報通信技術（ICT）といった技術の活用・普及が社会にどのような影響を及ぼしているのか、また、逆に、社会や文化がデジタルメディアの活用・発展にどのような影響を及ぼしているのかについて考えていきます。さらに、実際にインターネット上で無料で提供されているリソースを閲覧・活用することで、デジタルメディア活用の可能性を体験していただきます。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	デジタルメディアと社会		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	アオキ クミコ 青木 久美子 放送大学教授		
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年4月26日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		【到達目標】 本授業では、デジタルメディアが社会に与える影響を多角的に理解できるようになり、その変化を批判的に分析する力を養うことができるようになる。受講者は、メディア技術の進化、情報流通の特性、社会的・文化的影響、倫理的課題を学び、デジタル社会における主体的なメディア利用と情報リテラシーを高めることができるようになる。最終的に、デジタルメディアの役割を総合的に捉え、持続可能なメディア環境を考察できる力を身につけることができる。 【授業テーマ】 第1回 メディアの変遷とインターネット 第2回 モバイルメディア 第3回 ソーシャルメディア 第4回 ジオメディア 第5回 デジタルエコノミー 第6回 オンライン学習 第7回 デジタルメディアとプライバシー 第8回 人工知能（AI）と未来社会 【学生へのメッセージ】 この授業では、ディスカッションや実習を通して、学生の皆さんに積極的に参加していただきたいと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して事前学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 インターネットとシステムWAKABAへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 GoogleのブラウザであるChromeをダウンロードしておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 種類は問いません（ただし、ノートパソコンでの受講が望ましい）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール Chromeブラウザが必要です。 4. その他 最新のものにアップデートしておいてください。 放送大学のシステムにログインするためのパスワードをご用意ください。 【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2679256	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 2日間で、2種の実験を行い、それぞれ測定・データ入力・分析・レポート作成まで行います。実験は心理学における主要な研究方法の一つです。ただ単に、測定を経験するだけでなく、確からしい結論に至るための論理や工夫について学んでほしいと考えています。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方や具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
定員	20名	
担当講師	ハシグチ ススム 橋口 晋 長崎リハビリテーション学院 非常勤講師	【授業テーマ】 第1回 講義：心理学における実験の重要性と実験計画 第2回 実験：「鏡映描写」 第3回 実験のまとめと実験計画についての補足 第4回 実験：「ストループ効果」 第5回 講義：実験の立案について 第6回 講義：表計算ソフトを用いたデータ処理 第7回 講義：表計算ソフトを用いたデータ処理2 第8回 実験のまとめ
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月10日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	長崎学習センター 講義室	【学生へのメッセージ】 「仮説通りの結果が出ない」イコール「実験は失敗」ではありません。得られたデータをどう解釈するのがもっとも正しいのか？その根拠は？どう確かめればよいのか？と繰り返し自分に問いを向けることがレポート作成において重要です。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 キーボードが必要な実験を予定しています。ノートパソコンもしくは、キーボード付きタブレットを持参してください。 2. OSの指定 WindowsもしくはmacOSが望ましい。 3. ソフトのインストール ・文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いませんが、Wordで作成したファイルを配布します。 ・表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いませんが、Excelを用いて説明します。 ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出する場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		【参考書】 ・初心者でもすぐにできるフリー統計ソフトEZR（Easy R）で誰でも簡単統計解析（神田 善伸／南江堂／¥4,180／ISBN=9784524261581） 無料で使える統計ソフトのマニュアル本です。
		【その他（特記事項）】 ・色識別を要する実験課題があります。 ・心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。 ・測定・データ収集に要する時間に変動があるため、休み時間が前後します。 ・充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2688115		【授業内容】 1858年（安政5年）の開港で長崎は貿易港としての独占的地位を失います。しかし、町は衰退することなく石炭・造船などの近代産業が興り、都市基盤も急速に整備されていきます。そのこともあり、第1回国勢調査がおこなわれた1920年時点で長崎は九州で最大の人口を誇る都市となりました。この講義では主として明治期における長崎の諸産業の発展を解説します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	明治期における 長崎経済		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320	授 業	【到達目標】 ①明治期における長崎の経済発展について、その特色を説明することができる。 ②明治期における長崎の経済発展が日本経済に及ぼした影響を説明することができる。
定員	60名		【授業テーマ】 第1回 江戸時代の長崎と明治時代の長崎 第2回 市街地形成と都市生活基盤の整備 第3回 港湾改良事業 第4回 鉄道敷設 第5回 石炭産業 第6回 造船業 第7回 近代的水産業 第8回 長崎の近代的経済成長の意義
担当講師	ミナモリ シゲタ 南 森 茂 太 長崎大学 人文社会科学域 (経済学系)准教授	概 要	【受講前の準備学習等】 高等学校の日本史の教科書で幕末・明治時代について復習しておいてください。 参考文献に挙げた図書を読んでください。
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月10日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	長崎学習センター 講義室		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・今と昔の長崎に遊ぶ（増崎英明 著／長崎大学地域文化研究会 著／九州大学出版会／¥2,640／ISBN=9784798503103） ・グラバー家の人々（ブライアン・バークガフニ 著／長崎文献社／¥1,980／ISBN=9784888511728） ・リンガー家秘録 1868-1940（ブライアン・バークガフニ 著／長崎文献社／¥2,640／ISBN=9784888512152） ・松田源五郎（藤本健太郎 著／長崎文献社／¥1,980／ISBN=9784888513692） ・岩崎彌太郎：「会社」の創造（伊井直行 著／講談社／¥924／ISBN=9784062880510）

科目コード	2688085	授 業 概 要
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	クラシック音楽、 アナザースカイ	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	36名	
担当講師	ホリウチ イブキ 堀内 伊吹 長崎大学名誉教授	
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月17日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎大学 長崎創楽堂 (長崎市文教町1-14)	
<p>【授業内容】 現代にいたるまでのおよそ300年間に作られてきたクラシック音楽。世界中のオーケストラが、そしてベテランから若手のアーティストたちが、世界の劇場で今日も精魂込めて演奏し続けるクラシック音楽。その魅力について、少し視点を変えて探ってみようと思います。 キーワードは、「名演（迷演）、対旋律、幕間の音楽、映像と音楽、新たなアレンジ、作曲家の癖、器楽の曲に歌詞をつける」です。ちょっとだけ視点を変えて、楽曲を聴いてみると、思わぬ発見があったりするものです。さあ一緒に、音楽アナザースカイの旅に出かけてみませんか。</p> <p>【到達目標】 常日頃親しんでいるクラシック音楽について、異なる視点から、例えば映像と音楽、演奏者による解釈の違い、原曲とアレンジされた作品を比較する等、作品の魅力について、独自の観点で鑑賞、そして説明することができる。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 同じ曲なのにこんなにも違う演奏スタイル、名演（迷演）聞き比べ 第2回 脇役に光を！メロディー以外（主に対旋律）に耳を傾けてみる 第3回 幕間の音楽、「序曲」「前奏曲」「間奏曲」。その魅力に迫る 第4回 クラシックとジャズはなぜ相性が良いか？アレンジを愉しむ 第5回 クラシック、映像と出会う。映画、ドラマそしてCMの音楽たち 第6回 作曲家の個性（癖）を楽しむ。いかにも〇〇らしいフレーズとは？ 第7回 器楽曲に歌詞をつけて演奏。これは邪道か、作品の変容か？ 第8回 まとめとピアノによるアナザースカイ・コンサート</p> <p>【学生へのメッセージ】 普段聴いている音楽で、お気に入りの曲があったら、それをメモしておいてください。授業中に発表していただきます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 普段何気なく見ているドラマやCM、その中でどんな音楽が流れているか、少しだけ気にかけてみてください。もちろんオリジナルのテーマ曲や、挿入曲もありますが、クラシック音楽のみならず、様々なジャンルの音楽が効果的に使われているのが分かります。発見したら、メモをしておいてください。授業がより面白く受講できると思います。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。また、会場の椅子が固いので、必要な人は座布団等を持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 会場の椅子が固いので、必要な人は座布団等を持参してください。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5参照。</p>		

科目コード	2688093	授 業 概 要	【授業内容】 口の中（口腔）の状態は全身の状態に大きく影響することが明らかとなっ てきています。特に歯周病による感染や歯が欠損したまま放置しておく と全身に大きな問題を引き起こすことがあります。また、噛み合わせも 体にいろいろな影響を及ぼします。 本授業では口腔や歯科治療に関する知識を整理し、口腔環境が全身に及ぼす 影響に関して理解し、そうならないための対処を学修します。
学習センター(コード)	42A		【到達目標】 以下のことを理解し、口腔の問題を改善するための治療法や、自己管理の 方法を説明できる。 ・口腔の基本的構造や機能 ・口腔の状態は全身に影響を及ぼすので、口腔環境を整えることが健康のた めには重要性である ・一般的な歯科治療の流れ ・歯周病、インプラントや矯正治療の注意点
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 口腔について（鵜飼） 第2回 むし歯の治療（鵜飼） 第3回 入れ歯、インプラント治療（黒木） 第4回 咀嚼・嚥下に関して（黒木） 第5回 矯正治療に関して（吉松） 第6回 口腔状態と全身の病気の関連1（鵜飼） 第7回 口腔状態と全身の病気の関連2、歯周病治療（鵜飼） 第8回 口腔管理の方法（鵜飼）
科目名	全身に影響する口腔と 歯科治療		【学生へのメッセージ】 歯周病、インプラント、矯正治療に関しての予備知識を入れておいてくだ さい。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断し自己学習をお願いします。特に歯周病、インプラ ントや矯正治療に関しての自己学習をお願いします。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	60名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具以外特にありません
担当講師	ウカイ タカン 鵜飼 孝 長崎大学病院 口腔管理センター教授 クロギ タダフミ 黒木 唯文 長崎大学病院 口腔管理センター講師 ヨシマツ マサコ 吉松 昌子 長崎大学病院 口腔管理センター助教		【教科書】 教科書は使用しません。
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月17日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2679264	【授業内容】 心理検査の基礎理論を概論的に学ぶとともに、人格検査領域の代表的な心理検査を取り上げ、心理検査とはどのようなものか、その理論的背景を理解した上で基本的な知識を習得し、いくつかの検査を実際に体験的に実施することで実施法と結果の解釈を身に付け、理解を深めることを目的としています。また、その結果を通して、自己理解及び他者理解に役立てることをめざします。 受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実習のそれぞれについてレポートの提出が必要になります。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	<small>ホソノ ヤスフミ</small> 細野 康文 長崎純心大学 人文学部准教授	
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月24日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	
実施会場	長崎学習センター 講義室	
授業概要	【授業テーマ】 第1回 心理検査とは：標準化、信頼性と妥当性、代表的な心理検査 第2回 心理検査の実施：検査倫理、テストバッテリーとレポートの書き方 第3回 心理検査の実習：PHRFストレスチェックリスト・ショートフォーム（今津、2006）心理測定尺度集VIより 第4回 心理検査の実習：Y-G性格検査 第5回 心理検査の実習：バウムテスト 実施編 第6回 心理検査の実習：バウムテスト 解釈編 第7回 模擬事例からみる心理検査の活用（WISC等） 第8回 心理検査のまとめ	
	【学生へのメッセージ】 心理検査は、信頼性と妥当性に裏付けられた科学的ツールであり倫理的配慮も求められます。真摯に、誠実な態度で主体的に臨んでいただけることを期待します。	
	【受講前の準備学習等】 ・パソコンの持参は任意です。本講義では受講者自身のパソコンを持参して、レポート作成やインターネット検索を行っていただいても構いません。パソコンを持参してのレポート作成の場合は、メールでの提出となりますので、キャンパスメールが使用できるようにしてください。なお、パソコンを持参しインターネット検索をされる方は、事前に学習センターでの無線LAN利用について、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 その他、OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。	
	【成績評価の方法】 授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により評価を行います。 特に、レポートの評価については、3つの実習課題（心理検査）ごとに小レポートを課します。その上で、その小レポート3本を踏まえた最終レポートが課されます。合計4つのレポートがそろわないと評価ができません。小レポートは、その実習課題ごとにその場で作成することが求められます。	
	【受講者が当日用意するもの】 ・実習のある回ではHBから2Bの鉛筆が1本あると望ましいです。 ・パソコンを持参してのレポート作成も許可します。	
	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。	
	【参考書】 ・心理検査の実施の初歩（心理学基礎演習Vol.5）（願興寺礼子・吉住隆弘編／ナカニシヤ出版／¥2,860／ISBN=9784779503870）	
	【その他（特記事項）】 パソコン等を持参する場合は、充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。	

科目コード	2679019	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。学習センターにご自身のパソコンを持参して、その操作方法とともに、放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学ウェブサイトの閲覧方法、学生用電子メールの送受信方法、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法、附属図書館の電子情報サービスによる情報収集方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストの閲覧と動画の視聴、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート課題ファイルの提出を体験します。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	新・初歩からのパソコン	
科目区分	基盤科目	【到達目標】 パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、Webサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出） 【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートしますので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。 【受講前の準備学習等】 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・「学生生活の栞」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティーガイドラインを読んで理解しましょう。自分用パソコン等を使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、受講内容を復習してください。 ・システムWAKABAのログインやパスワードを再確認しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。とくに、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。
ナンバリング	110	
定員	24名	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 Windows11が必要です。 3. ソフトのインストール Wordが必要です。 配付資料をPDF形式ファイルで提供しますので、Adobe Acrobat Readerをインストールしておいてください。 4. その他 ・Microsoft Office 2016以降またはMicrosoft 365のWordを対象とします。 ・マウス ・USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。） ・学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。 ・イヤホン 【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学） 授業当日に配付します。 【参考書】 ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学） PDFダウンロード方法は授業で説明いたします。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済の方は登録できません。 ・『新・初歩からのパソコン』の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。 ・充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
担当講師	フジムラ マコト 藤村 誠 長崎大学 総合生産科学域 (情報データ科学系)准教授	
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月31日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2688042	授 業 概 要	【授業内容】 このコースは、初心者から中級レベルの英語学習者の言語スキルを向上させることを目的とし、多様な文化テーマに関する講義とディスカッションを通じて実施されます。話す、聞く、読む、語彙のスキルを向上させる一方で、学生は言語、文化、アイデンティティの多様な側面を探求していきます。
学習センター(コード)	42A		【到達目標】 この講義で行う講義、小グループでのディスカッション、およびミニ問題解決演習を通じて、学生は次のことができるようになる。 ・言語、文化、社会とのつながりを理解し、英語と日本語のコミュニケーションの違いを説明する。 ・言語がアイデンティティ、性別、ユーモア、タブー、および社会の他の重要な側面とどのように関連しているかを説明する。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 Course and Self-Introductions 第2回 Language, Culture, and Society 1 第3回 Language, Culture, and Society 2 第4回 Language and Identity 1 第5回 Language and Politeness 第6回 Language and Metaphors 第7回 Language and Identity 2 第8回 Identity Presentations and Course Review
科目名	言語、文化、 アイデンティティ		【学生へのメッセージ】 この授業は英語力の向上だけでなく、興味深く楽しい教室環境の中で異文化を学ぶことを目的としています。英語でのコミュニケーションに自信のない方もお気軽にご参加ください。
科目区分	基盤科目：外国語		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 授業テーマに関連する資料(写真、雑誌、本など)、またはパソコン、タブレット、スマートフォンなどを授業に持参してください。パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。
ナンバリング	120		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	60名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ダッツマン プライアン ダッツマン プライアン 長崎大学 言語教育研究センター助教		【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2688050	【授業内容】 本講義は、高齢社会における高齢者支援の重要性を理解し、実践的な知識と対応力を身につけることを目的としています。8回にわたる授業では、高齢者の心身の変化、認知症、虐待、介護者支援、多職種連携、関連制度などを幅広く学びます。視聴覚教材や事例を活用し、グループワークやディスカッション、発表を通じて理解を深めます。 【到達目標】 ・高齢化社会の現状と課題を理解し、社会全体での支援の必要性を説明できる。 ・高齢者の心身の特性や認知症に関する基礎的な知識を修得し、適切な理解と対応ができる。 ・高齢者虐待予防や介護者支援の重要性を理解し、支援の視点から事例を考察できる。 ・地域包括ケアや多職種連携の仕組みを理解し、説明することができる。 ・学んだ知識をもとに、自らの立場で高齢者支援にどのように関わらべきかを言語化し、発表・共有できる。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーションと高齢社会の現状 第2回 高齢者の心身の変化と理解 第3回 認知症の理解と支援 第4回 高齢者虐待の現状と対応 第5回 家族支援と介護者の負担 第6回 地域包括ケアシステムと多職種連携 第7回 高齢者支援プレゼンテーション 第8回 まとめと振り返り 【学生へのメッセージ】 私は普段、高齢者看護の教育に携わっております。 本講義では、皆さんが生きる中で感じる「老い」について考え、明確な答えのない支援について、皆さんと共に学び合える時間にできればと考えております。 講義内では適宜、学生間でのディスカッションや視聴覚教材による学習を行います。 【受講前の準備学習等】 授業内容を確認し、取り扱うテーマについて図書や文献、インターネット等を使って調べてください。また、授業で学修した内容を資料等で復習し、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 必須ではありませんが、お持ちの方はスマートフォンまたはタブレットをご準備ください。授業中にQRコードを用いた回答を行う場面があり、インターネット接続が必要となる場合があります。ただし、端末をお持ちでない方も受講には支障ありません。パケット通信量に制限のある方や通信環境が整っていない方は、学習センターで提供されている無線LANをご利用ください。接続方法については、システムWAKABA学内リンクの「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 端末等を持参する場合は、充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	高齢社会の問題について考える	
科目区分	導入科目：生活と福祉	
ナンバリング	210	
定員	60名	
担当講師	ヨシダ コウジ 吉田 浩二 長崎大学 生命医科学域 (保健学系)准教授	
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2688158	授 業 概 要	<p>【授業内容】 私の身の回りにある物は、化学反応で作られたものが大半を占めます。その多くは、無機材料と有機材料に分けることができます。この講義では、無機材料に焦点をあて、無機材料の構造と機能について学修します。化学物質は元素から構成されていますが、その集まり方によって、構造や機能が変化します。それらを体系的に学修したあと、機能や応用例について紹介します。身の回りにあるいろいろな材料がどこに使われ、どのように働いているのか、その謎に迫ります。</p> <p>【到達目標】 化学結合について理解し、種類や違いについて説明できる。無機材料と有機材料の違いを理解し、説明できる。無機材料の特徴を理解し、利用方法について説明できる。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 原子と分子の構造について 第2回 化学結合の仕組み 第3回 固体の構造と電子の構造 第4回 無機材料と有機材料の違い 第5回 金属とそのはたらき 第6回 セラミックスとそのはたらき 第7回 触媒とそのはたらき 第8回 無機材料をつくる</p> <p>【学生へのメッセージ】 身の回りの無機材料について、その仕組みや働きについて学修します。高校の化学の知識が必要です。事前に勉強しておいてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 高校の化学の教科書などで、事前に化学の基礎を学修しておいてください。教科書がない場合は、Webで事前に用語を調べるなどの事前学修をしてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具などが必要です。講義中に用語を調べたい場合は、スマートフォンやタブレット、ノートパソコンなどを持参しても構いません。ただし、端末の持込は必須ではありません。パケット通信量に制限等がある方は、学習センターでの無線LANの利用についてはシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	無機材料の構造と機能		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	310		
定員	60名		
担当講師	<small>タナベ シュウジ</small> 田邊 秀二 長崎大学 大学教育イノベーション センター教授		
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月21日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2688123	授 業 概 要	<p>【授業内容】 民法は「法的権利や義務の主体となるのは誰か」や「どの範囲の人が法的に親戚となるのか」等、日常生活に大変関わる法律です。条文は1050条もあり、独学で勉強することは難しい上、条文自体も簡潔に書かれているものが多く、条文を読んだだけでは具体的な内容の理解が難しい場合も多くあります。 そこで、今回は、民法領域において裁判で論点となり、裁判所が出した判断、それに関連する学説も併せて、解説することとしました。民法の内容をより深く学習することが出来ると思います。</p> <p>【到達目標】 ・民法の枠組みを理解することができる。 ・民法の条文のどの部分がどのような理由により論点となっているかを理解し、判例・学説の解釈を説明することができる。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 民法総則 (1) 第2回 民法総則 (2) 第3回 物権 第4回 債権 (1) 第5回 債権 (2) 第6回 親族 (1) 第7回 親族 (2) 第8回 相続</p> <p>【学生へのメッセージ】 民法は日常生活に直結する法律であり、知っておけば、大変役に立ちます。通常、判例研究は中級程度ですが、初心者にも分かるように詳しく説明します。一緒に社会のルールを学んでみませんか。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	民法判例研究		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	<small>イケヤ カズコ</small> 池谷 和子 長崎大学 人文社会科学域 (教育学系)准教授		
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月28日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2688107	授 業 概 要	【授業内容】 一口に微生物と言っても細菌やウイルス、真菌など、様々な種類が存在しています。これらの微生物は基本的な構造や食べ物、増え方などが私たちの細胞と大きく異なります。これらの特徴を正しく把握することは、感染症やその治療法の理解につながります。また、微生物は医療や食品、環境など様々な領域で役立っています。さらに、皆様の体の中や身の回りにも多種・多様な多くの微生物が存在して、それぞれ大切な役割を果たしています。その世界の一端を覗いてみてください。
学習センター(コード)	42A		【到達目標】 微生物とは何か説明できる。 微生物に特徴的な構造とその役割について説明できる。 微生物が何を食べてどのように増えるのか説明できる。 微生物が関与する病気とその制御方法を説明できる。 食品生産やバイオテクノロジーにおける微生物の利用例を挙げるができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 微生物の世界 第2回 微生物と私たちの細胞の違い 第3回 微生物の食べ物と増え方 第4回 細菌だけの情報源 第5回 微生物と病気 第6回 微生物だけを取り除く方法 第7回 微生物の活躍の場 第8回 まとめ
科目名	微生物学の基礎知識		【学生へのメッセージ】 一方的な講義ではなく、受講生のグループワークを積極的に取り入れます。グループワークには事前学習が必要なので、シラバスの内容を見て、インターネットなどで下調べをしてください。
科目区分	専門科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、インターネットなどで関連する事項を調べておいてください。 授業で学修した内容をもとに自ら問題点を抽出して解決する努力を続けてください。
ナンバリング	310		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	25名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具は必ずご持参ください。また、必ずしも必要ではありませんが、必要と思われる方はスマートフォン等の端末を持参してインターネット検索しても構いません。なお、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。
担当講師	イシイ ヨシカズ 石井 良和 広島大学 IDEC 国際連携機構 PHIS 特任教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月28日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2688069	授 業 概 要	【授業内容】 私は2025年に放送大学へ着任するまで、研究所を中心に活動し30年以上にわたって脳科学研究をしてきました。ほぼ、同じ年月を精神科医としても働いてきました。本講義では私のこうした履歴を生かして、脳科学と臨床医学をむすぶような視点から、心とはなにか、病とはどういうことかを論じてみたいと思います。心に脳が深くかかわることは間違いありませんが、脳はあくまで心の一部でしかありません。尊厳や自尊心という神経細胞もたんぱく質もありません。人が健やかに過ごすには物語を生きる必要があることを、具体的な例を示してお話ししたいと思います。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	メンタルヘルスの脳科学		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	210		
定員	60名		
担当講師	イトカワ マサナリ 糸川 昌成 放送大学教授		
日程実施時間	2026年7月4日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年7月5日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		
		【到達目標】 脳科学の基礎知識を臨床医学の事例と関連付けて説明できる。脳と心の関係について、具体例を挙げて考察し、日々の学習や生活に役立つ脳科学に基づいた実践法を立案できる。自身が健やかであるために、脳科学の知識を活用した生活の工夫が立案できる。	
		【授業テーマ】 第1回 統合失調症の脳科学研究とは 第2回 脳と心の旅路 第3回 内科の病気と精神科の病気はどこが違うのか 第4回 心はどこまで脳なのだろうか 第5回 脳科学からみた心の健康とは 第6回 記憶と発語の脳科学 第7回 倫理的ふるまいとは 第8回 精神療法とはどのようなことか	
		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、参考になりそうな資料をあたって事前学習を行ってください。また、事後学習として授業で学習した内容は不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。	
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。	
		【教科書】 教科書は使用しません。	
		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。	

科目コード	2688077	授 業 概 要	【授業内容】 日常生活での「心理」は「知・情・意」の「情」、つまり感情状態ととらえられることが多いですが、「知」も心の重要な要素です。認識や知識といった知の側面にスポットを当てた認知心理学について考えていきましょう。理解を深めるために、さまざまな映像を視聴し解説していきます。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	映像で学ぶ 認知心理学入門		
科目区分	導入科目：心理と教育		
ナンバリング	210		
定員	60名		
担当講師	カク ヒデトシ 加来 秀俊 活水女子大学名誉教授		
日程実施時間	2026年7月4日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年7月5日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		
		【到達目標】 認知心理学についての理解を深め、日常生活の出来事を心理学的に考えることができるようになる。	
		【授業テーマ】 第1回 認知心理学とは 第2回 知覚の基礎 第3回 視知覚の不思議 第4回 表情の認知 第5回 記憶の心理 第6回 言葉、文字、数字 第7回 思考の心理 第8回 映画と心理学	
		【学生へのメッセージ】 日頃あまり気に留めないことがらも、注意深く観察したりいま一度じっくり考えてみたりすると、新しいものが見えてくることもあるかもしれません。映像を参考にしながら、人間の知的な活動について興味をもち認知心理学について考えてみましょう。	
		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。	
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。	
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。	
		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。	